



大淀中だより

学校教育目標「自主・自律の態度と共生の心を育成する」

京都市立大淀中学校
学校だより
令和5年(2023)10月30日
校長 川上 貴由

輝笑炎結 にっこり・ガッツリ・熱盛

10月12日(木)体育大会を開催しました。体育大会前は、涼しさを感じる毎日でしたが、大会当日は暑さを感じるぐらいの晴天となりました。大会も、その暑さに負けないぐらいの熱い体育大会となりました。新型コロナウイルス感染症が第5類に移行になりましたが、学年別の開催や午前中開催の学校が多くあります。しかし、本校では体育大会を通して、異学年交流など生徒同士がつながる意味を重要視して終日開催といたしました。今年度も、全力で取り組む生徒の姿は、観戦する者に元気や感動を与えてくれました。本校で進めている学校改革の成果が見られた一瞬でもありました。そして、何より生徒たちのたくさんの笑顔を見られたことは、この上ない喜びでした。

そして、ご多忙にも関わらず、多くの来賓の方々、保護者の方々に、ご参観いただいたことは、生徒たちの励みとなったことと思います。また、PTA本部役員の皆様におかれましては、冷凍のお茶ペットボトルの準備など、暑い中、運営にご協力をいただき、誠にありがとうございました。



【準備運動(体育委員会)】



【学級対抗 玉入れ】



【学級対抗 綱引き】



【開会式・閉会式(吹奏楽部)】



【ムげんのかなたに、ほないくデー!Let's go☆】て、目指す場所へ~
(1年生)



【大淀キングダム~仲間を助け、目指す場所へ~】
(2年生)



【全員リレー~「お前たちならできる」つってんだろ!~】
(3年生)



【部活動紹介リレー】

	優勝
1年生	1年1・2組
2年生	2年4組
3年生	3年3組
団対抗	黄組



【色別対抗 しっぽ取り合戦】



【開会式(選手宣誓)】

全国学力・学習状況調査の結果

4月18日(火)、3年生を対象として実施されました「全国学力・学習状況調査」についての結果と考察を報告します。この調査は、国語・数学・英語のテストと同時に、家庭での過ごし方や学習時間を問う調査も実施されています。

■国語

ほとんどすべての領域で全国平均と比べ下回っています。特に、2つ以上の文章や資料を比較したり参照したりした上で答える問いで、全国平均に比べ顕著な差が見られました。また漢字の書き取り問題では「おし量る」の正答率が低く、無解答率も高かったです。「話すこと・聞くこと」の領域の問いは、聞き取ったことをもとに、目的に沿って自分の考えを書く問いも含めて、平均の正答率に近い結果が出ています。

(今後の改善点)

2つ以上の文章を比較したり、資料を参照したりするためには、ある程度の分量の文章を一定の時間で読み、概要を把握する必要があります。また漢字の書き取りに見られるように、「推薦」や「推し」というなじみのある言葉であれば正答したと思われるため、言語知識・技能の定着のためにも、まずはたくさんの文章に触れ、漢字や語彙の知識の定着を図り、内容理解の手助けとします。その上で、知識・技能を活用する活動を充実させ、「読む」力を養っていきます。

■数学

すべての領域において、全国平均より下回っています。特に図形に関する問題において、平均を大きく下回りました。しかし、関数においては全国よりやや下回っている程度でした。数と式・データの活用は図形と関数の間ぐらいに位置します。すべての分野で、理由等を説明しなさいという記述式での解答は、無答にする生徒が多く、すべてわからないと解答をしないという傾向があるように思います。

(今後の改善点)

どの単元においても、基礎基本が定着していない生徒が多いように思われます。授業の最初に行っている基礎の計算が大切なので、継続して行くことで基礎基本の定着を図っていきます。これからは、解けないからやらないではなく、間違えてもいいから何とか解いてみるという姿勢を養っていきたいです。また、授業の中でも理由等を説明しなさいという記述式の問題を数多く解くことで説明する力を養っていきます。

■英語

すべての領域において、全国平均より下回っています。

特に「聞くこと」と「読むこと」の領域において、問題の状況から判断し、必要な情報を取捨選択しながら内容を捉える問題では他と比べて大きく下回りました。しかし、日常的な話題についての短い文章から情報を捉える問題では正答率が上がっていました。

(今後の改善点)

どの単元においても、基礎基本の定着が必須です。定型文での練習をくりかえす中で得られた知識を、実際の問題形式での答え方や考え方に繋げられるような授業を行なっていく必要があります。また、「書くこと」の領域に関しても、得られた知識・技能の活用方法や場面について意識し、順序立てて文章を作成することができるような授業を展開していきたいです。

■生徒質問紙

「毎日、同じくらいの時刻に寝て起きていますか」という基本的な生活習慣に関わる設問は全国平均よりも高い結果となっています。引き続きご家庭での温かいご支援をよろしく願います。しかし、「自分にはよいところがありますか」「将来の夢や目標を持っていますか」の設問について、全国平均より下回っているのが気になります。今後も学校行事の取り組みや進路指導を通して自己肯定感や自分の将来を前向きにとらえる態度がもてるよう、丁寧に指導していきたいと思います。ご家庭でもこれまで以上にお子さまに寄り添い励ます機会をもっていただけますよう、ご協力をお願いします。

■ □ ■ 学校運営協議会 ■ □ ■



10月21日(土)10:00から、校長室にて2回目の学校運営協議会を実施しました。理事の方々にお集まりいただき、学校評価の結果についてご意見を

いただきました。多くの設問で前年度より低下している背景について、「生徒達がより真剣に回答するようになったのではないか」「新型コロナ感染症が第5類に移行され、生徒の行動が活発になったからではないか」「生徒の様子は、昨年以上に良くなっているのに、数字だけで評価されない部分がある」などのお言葉を頂きました。

(おことわり)

10月は、体育大会の他にも、地生連主催のクリーンキャンペーンや音楽の集いなど、様々な取組が行われました。また、部活動でも、多くの競技で決勝トーナメントに進出しました。これらの記事については、紙面の都合上、来月号にて掲載させていただきます。